

千電協会報



アクアライン



社団
法人 千葉県電業協会

2010.1 第36号



目次

こ

挨拶

会長
千葉県知事
千葉県県土整備部長
千葉県県土整備部営繕課長
千葉県県土整備部
技術管理課技術審査室室長

並木 鷹 男
森田 健 作
橋場 克 司
子安 正 宏
鈴木 正 彦

随

筆

「海外電設視察団に参加して」 輪 湖 葆 子 (アツサ電気工業(株))
「今、思うこと」 廣 山 和 仁 (フィデス(株))
「さらに安全な現場を目指して」 上 村 勇 也 (セイコー電設)
「建設業界に入り思ったこと」 海 保 卓 也 (フィデス(株))
「安全衛生功労者賞を受賞して」 山 田 章 治 ((株)後藤電設)

行

事 「1年を振り返って」

第46回通常総会・功労者表彰
三県連絡会議(秋期)の開催
平成21年度会員交流会(地区オーナー懇話会)
千葉県工業高校総合技術コンクール
安全衛生大会・技術講習会
安全パトロール
講習会(男女共同参画女性部会研修会・後継者講習会)

委員会活動

経営・企画委員会
技術・渉外委員会
防災・安全委員会

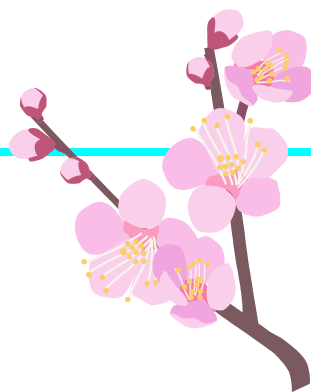
会 員 消 息
事 務 局 日 誌 (会 務 報 告)
協 会 役 員 簿 記
会 員 名 簿 記
編 集 後 記



表紙写真

(撮影) 房総電機工業(株)・他

年頭のごあいさつ



(社)千葉県電業協会会長

並木 鷹 男



新年明けましておめでとうございます。

ご健勝にて輝かしい新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。日頃から、関係機関、諸団体、並びに会員の皆様方には格別のご高配とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え、明るい話題に終始したい所ですが、一昨年来、米国の金融不安に端を発した世界同時不況による急激な景気後退は快復の兆しも見えず、又、政権交代による混乱により、特に公共工事への依存度の高い建設業界には、先行きの見えない不安が重く押し掛かる一年でした。戦後、小さな景気の波はあったものの、このような大きな変化を体験しない我が国の資本主義経済は成す術もなく翻弄され、未だに未来図を描けない“足踏み状態”に陥っているのも現実かと存じます。

このように先行き不透明な経済環境で幕を開けた 2010 年ですが、暗闇のトンネルの中にも、微かに薄明かりが見えて来た様な気も致します。社会生活に必要な不可欠と言えるエネルギー・インフラの整備・維持管理を受け持つ我々電気工事業界は、それでも飽くなく快適性や安全性を追求する社会の要求に応え、高度化、複雑化するエネルギー・インフラの技術革新に、尚一層の努力を傾注しなければなりません。ましてや環境保全は地球規模の使命であり、CO2 削減を推進する省エネ技術、又、運輸交通体系においては、自動車の電気が急激に進むことにより“何時でも、何処でも、安全に”電気を供給する充電基地の整備などは、我々業界に与えられた天命かと存じます。この様な急激な社会構造の変化は、勿論、痛みも伴います。しかし、こうして幾多の困難、変化を乗り越えて先達は“知恵と勇気”でこの業界を発展成長させて参りました。

本協会は、現代の文明社会を支えるエネルギー・通信・インフラの整備、省エネ、新エネルギー等の環境関連事業への参入を促進し、会員の公共工事依存体質を改め、又、協会挙げて県民の安全を支える災害防止活動に尽力し、企業の社会的な責任も果たして参ります。

このように、創立以来最も大きな転換期に立たされた本協会ではございますが、新年を迎え会員一同、未来に向かって希望を持って進む所存でございます。

先ずは、公益法人法の改定を視野に入れ、本協会の将来のあるべき姿を模索して本協会

の Vision 創りを推進いたします。協会の社会性、災害防止協定の見直し、会員サービスの強化、又、品質確保、総合評価方式への対応、若手技術者の業界参入の促進、男女共同参画社会への対応、優良な人材確保の為の工業高校との連携強化、など等、問題、課題は山積しています。

しかしながらこの大きな転換期をチャンスと捉え、未来の電気工事業界を背負って立つ若手の力を結集し広範囲に亘って協会の Vision 創りを進めたいと存じます。

業界を取巻く環境はまだまだ逆風が続くと思われませんが、業界の発展と地域社会への貢献のために、本年も協会の総力を挙げ、尚、一層の努力をいたす所存でございます。何卒、関係機関の益々のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、本年も皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田 健作



明けましておめでとうございます。

協会の皆様には、希望あふれるさわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、千葉県電業協会におかれましては、日ごろから千葉県政の推進に格段の御尽力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、知事就任以来、本県が直面する様々な課題に取り組むため、全力で走り続けてきたというのが実感です。

なかでも、経済活性化の起爆剤として、アクアライン通行料金の大幅な引下げを実現することができました。昨年8月以降、交通量は順調に伸び、観光など様々な方面で効果が現れております。

これもひとえに、皆様方をはじめ、千葉県民の力、まさにオール千葉の力で実現したものと、厚く御礼申し上げます。

私はあらためて、我が県が持つ大きなポテンシャルを実感した次第です。

しかし一方で、一昨年の世界同時不況以来、景気の低迷が続き、日本経済はもとより、県内経済は依然として厳しい状態が続いております。

そうした状況を受け、県では全庁を挙げ、「千葉県総合経済対策」に基づいて、緊急雇用対策や中小企業者への支援など、早急な対応を図っています。

また、アクアラインの通行料金引下げの効果を最大限に高めるため、市町村や民間事業者等と連携し、観光の振興、企業誘致の促進や関連道路網の整備を進めています。

こうした中で、千葉県が経済危機を乗り越え、持続的に発展していくためには、即効性のある景気対策はもちろん、中長期的視野に立った社会基盤整備が大変重要であると考えます。経済活動や県民生活を下支えする県土の基盤整備は、将来を見据えた大きな投資です。

建設産業は、社会基盤整備の直接の担い手として、県民生活の向上や県内経済の発展に貢献する、県民生活に欠かせない基幹産業です。

なかでも、電気工事業は、高度情報化の進展に伴い、ニーズの多様化と高度な専門性から、現在の情報化社会にあって、経済活動、県民生活のいずれにおいても重要な役割を果たしています。

私は、今後とも、「千葉県に生まれて良かった、住んで良かった」と県民が自信と誇りを持てるような千葉県づくりを進めてまいりますので、引き続き、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、協会の今後ますますの御発展と、皆様の御活躍をお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部長

橋場 克司



新年明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、希望に満ちたさわやかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、本県の経済情勢は依然として非常に厳しい状態にあり、何より景気回復への取組が求められた一年でありました。そのため、県土整備施策は千葉県総合経済対策の一つの柱として位置づけられ、活力ある県土の基盤づくりという役割とともに、社会資本投資を早期に行い、本県経済の低迷を改善するという重要な役割も担いました。

県土整備行政が担う役割は時代の変遷とともにますます広範囲にわたるものとなっております。今年も、県民の皆様の安全・安心な暮らしの実現という視点は常に大切にしながら、時代の変化に対応できる県土づくりに努力してまいります。

さて、今年、県土整備部で取り組んでいく主な事業の基本方針の一点目として、「事業の選択と集中の強化」を更に進めることにしています。このために、限られた予算の中で、最大限の効果を図るため、県の施策上優先度の高い「北千葉道路」「圏央道・外かん道」「つくばエクスプレス沿線の整備」などについて、重点配分し、完了までのスピードアップを図っていきます。

二点目に、「住民の安全・安心の確保」であります。自然災害や事故から県民の生命と財産を守るため、住宅や橋りょうなどの耐震化を推進するほか、近年、集中豪雨が多発し激化していることから、土砂災害対策や低地地域の浸水被害を防止するため、河川の護岸改修や排水機場などの治水施設の整備を推進するとともに、県民への気象情報の提供を実施するなど水害対策を推進していきます。

三点目として、「時代の変化に対応する地域づくり」であります。市町村が地域住民とともに進めるまちづくりの取組への支援を進めるとともに、河川環境の改善や良好な景観形成の推進・緑地保全など環境・景観に配慮した社会資本の整備に取り組んでいきます。

現在の厳しい経済状況や財政状況の中で、公共事業の削減や公共事業の効率化が求められていますが、真に必要な社会資本整備は、健全で豊かな社会生活を送るうえにも必要不可欠です。これからも、老朽化が進む既存の社会資本の保全や改善は重要であるとともに、新たな整備には環境保全、環境再生、循環型社会システム構築の視点が不可欠であり、必要なところへは重点的に事業を配分していきます。

最後に、今年一年が災害のない年となることを、そして県民の皆様にとって健康で幸多き年となることをご祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課長



子 安 正 宏

新年明けましておめでとうございます。

社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、電気設備工事の適正な施工や安全の確保等を通して、公共建築物の整備に格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

公共建築物は、県民の共有財産として、環境との調和を大切にし、地域の文化を生かした誇りと愛着の持てる良質な施設として整備するよう求められています。

このため、県では、次のような基本方針に基づき、より良質で安全な公共建築物の整備に取り組んでいます。

(公共建築物の整備に当たって基本的な方針)

- 1 環境負荷の一層の低減を図るため、環境に優しい施設づくり
- 2 県民が快適に、安全に、安心して利用できるユニバーサルデザインの尊重
- 3 建設副産物の分別及びリサイクル化の推進
- 4 コストの縮減及び品質の確保
- 5 公平かつ透明性のある入札の実施

電気設備施設については、高効率型照明器具やデマンドコントローラ、人感センサーなどの設置等により維持管理コストや環境負荷の低減を図るとともに、スクールニューディール構想に対応した太陽光発電設備の設置なども検討しています。

このためには、専門の技術者を擁し、豊富な経験を持った会員の皆様の御協力が欠かせないことから、電気設備工事の発注に当たっては、引き続き、建築工事と設備工事を分離して設備工事業者に直接発注する「分離発注方式」が必要であると考えております。

公正で透明性・競争性の高い入札制度を確立するために、平成 19 年度から「千葉県総合評価方式ガイドライン」に基づき、価格と品質が総合的に優れた事業者を落札者とする総合評価方式一般競争入札が導入されています。

工事条件等を反映した施工計画や工事実績、災害協定等の締結状況など会員の皆様が長年培ってきた実績やノウハウ等が入札価格と併せて総合的に評価されていますが、平成 21 年 8 月から、より一層の改善を図るため低入札価格調査制度や最低制限価格制度の見直し等が行われています。

低入札価格調査制度については、調査基準価格の設定範囲の引上げや価格による失格基準の算定式の改定等が行われ、また最低制限価格制度についても、低入札価格調査制度との一体的な運用を図るため、予定価格の70%から90%の範囲内で算出するものとしています。

皆様には制度改正の内容や趣旨について十分に御理解いただきたいと思います。

また、工事の施工に当たり、事故や災害の防止についてなお一層の御配慮をお願いいたします。

本年4月に開校予定の千葉県立印旛明誠高等学校校舎電気設備工事現場において、昨年11月、発注者、受注者及び貴協会防災・安全委員会による安全パトロールが実施されましたが、従業員の生命・安全を守るためには建設業界が一丸となって安全対策を講じることが重要です。

皆様には、今後とも法令等を遵守し、安全管理の徹底になお一層の御努力をしていただきたいと思います。

新しい法令や制度に血を通わせ実効性を挙げるためには、会員皆様の御協力が不可欠です。皆様には、常に最新技術の研鑽や後継者の育成、安全管理等に励まれ、電気設備業界のリーダーとして、県民生活の保安と公共福祉の増進、産業の振興に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、社団法人千葉県電業協会のさらなる御発展と会員の皆様のますますの御繁栄を祈念しまして挨拶といたします。



年頭のごあいさつ



「総合評価方式について」

千葉県県土整備部技術管理課技術審査室長

鈴木正彦

明けましておめでとうございます。

社団法人千葉県電業協会の会員の皆様方には、日頃から県の社会資本の整備に関しまして、ご協力いただき厚くお礼を申し上げます。

昨年は政権が変わり、「コンクリートから人」と社会基盤整備から雇用や福祉へと政策転換が行われ、また逼迫した財政の下で、「必要」と「無駄」の選別がますますシビアとなり、公共事業費の縮減が示されております。建設産業を取り巻く環境は更なる逆風が吹き、厳しい状況が続くことが予想されますが、会員の皆様方には適正な技術力による適正な価格での工事受注を心がけていただきたいと思います。

さて、私が在籍している県土整備部技術管理課では、設計積算歩掛、総合評価方式、コスト縮減、建設リサイクルや工事検査など多様な業務を所掌しております。この業務のうちで、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づく総合評価方式やダンピング受注防止対策としての低入札価格調査制度の業務を技術審査室が担当しています。

本県の総合評価方式は、平成19年10月から本格的に導入され、実績の検証などを基に数回の改正を経て、2ヶ年が過ぎたところです。会員の皆様方におかれましても技術資料の作成につきまして、いろいろとご苦労をされたのではないかと推測されます。また、提出された技術資料の審査はどのように行われているのかと疑問に思われている方が多いかと推察されます。

ここで、予定価格が1億円以上の工事の技術審査の流れと、技術資料の一部である「施工計画」書のどのような記載内容を評価しているのかにつきまして、ご紹介します。

まず技術審査の流れですが、提出された技術資料は、発注者(出先機関等)で受付をし、担当者レベルでの評価を行った後に、中立・公平性を確保するため、業者名を記号化して、県土整備部内に設置している技術次長を委員長とする技術審査会に諮ります。その後に、更なる公平性や妥当性を期するため、大学教授など2名からなる学識者意見聴取の場で意見をいただき、技術評価点の決定を行っているところです。

次に「施工計画」書の記載内容につきましては、工事公告の評価項目に発注者が求めているテーマが記載されております。その内容を読み取っていただき、皆様方がお持ちの技術力・施工能力などで具体的に記載をお願いします。

なお、審査にあたっての主な評価のポイントですが、

- ・ 仕様書や特記仕様書の記載内容は、当然厳守して施工を行うものであり、評価しておりません。
- ・ 一般的な記載でなく、具体的な工夫が認められる記載について評価しております。
- ・ 過度なコスト負担、例えば材質のグレードアップなどは評価に値してないものとしております。

ただし、落札者として契約締結した後は、自社から提出された「施工計画」書に記載された全ての内容につきまして、実施することが求められます。仮に現地で履行がされなかった場合、工事成績評価点の減点対象となることから、慎重を期して記載をお願いします。

年の初めから細かな話をいたしました。今後も皆様方と意見交換などをさせていただきながら、より良い入札契約制度を目指していきたいと考えております。

地域の産業として、雇用の場の提供、納税や災害復旧に関する活動などで貢献されている会員の皆様方におかれましては、総合評価方式を受注の有効な手段として捉えていただき、積極的に取り組んでいただければと思っております。

最後に、社団法人千葉県電業協会と会員の皆様方のますますのご発展をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



“（社）日本電設工業協会” 第55次（平成21年度） 海外電設視察団に参加して

アツサ電気工業株式会社

輪湖 葆子



平成21年10月26日から10月31日までの6日間、中国（上海・宜昌）及び韓国（ソウル）の2ヶ国3都市を現場見学及び業界団体との交流を目的とした海外電設視察団に参加しました。第55次視察団報告書が日本電設工業協会ホームページに掲載されておりますので是非当協会の皆様方にも是非ご覧頂きたいと思えます。

（社）日本電設工業協会のホームページを開き、協会案内＞調査研究成果＞協会の歴史リーe t c 視察団報告書と進んで下さい。過去の報告書もご覧になれます。

海外電設視察団は第一次昭和31年3月アメリカに始まり昭和62年以降は毎年1回実施しており今回が55次と歴史を重ね42ヶ国を訪問しています。

従来は経営層対象でしたが今回は主に実務者（執行層）が対象となりました。

今回は経営層を対象にヨーロッパを予定しており、以降は実務者（執行層）と交互に実施予定となっています。今回参加しての感想ですが、一般の観光ルートでは観光出来ない場所の視察もあり一度観光した場所でも感動を新たにしました。

次回以降の視察団へのご参加を当協会会員の皆様方にお奨めします。

電設協の経営企画委員として毎年の協議に参加しながら、日程等諸々の条件がクリア出来ず参加出来ませんでしたでしたが今回は6日間の日程となり参加が可能となりました。

10月26日成田国際空港において結団式の後、歴訪の旅に出発しました。

詳細は是非報告書をご覧頂く事にして、私にとって収穫になった一部をご紹介します。

< 報告書の作成 >

取材・報告書作成班が5名ずつ3班に編制されました。担当者の皆様は各自の担当視察先をネット等で事前調査し、現地では熱心にメモを取っていました。

帰国後に班毎に纏めをされた方からメールが届き、それぞれの意見が集約されたものを事務局高張主任が全体をまとめ立派な報告書が完成しました。

参加企業から選ばれて参加された方々ですから、皆様とても優秀で視察の翌朝には原稿が作成されおり、単なる観光旅行とは違い参加の皆様方の心意気に感動しました。

< 世界一を実感 ! >

上海では到着早々、最高速度 431 k m のリニアモーターカーを体験試乗し、世界で 3 番目の高さを誇る上海環境金融中心 (S M F C) の見学をしました。

S M F C は森ビルにとって中国で 3 棟目のビル開発です。

地上 101 階、高さ 492m (世界第 3 位) の「垂直の複合都市」であり、世界最高水準の国際金融センター機能を中心に、世界一の高さとなる展望台、世界中から人々が集う商業施設やフォーラム、最高級ホテルなどを擁し、万全のセキュリティーとホスピタリティを誇る、人と情報の交流拠点となっています。

一般非公開の特別ルームプレゼンテーションギャラリーにて S M F C の模型やシアタールームによる概要説明、上海市の 1 / 1000 の模型による市内の位置関係の説明があり、その後、一般非公開の中央監視システムや防災センター、発電機の見学をしました。

世界で最も高い 474m の展望台 (一般に公開) から上海市内の町並みを見下ろした時にはその高さに足が震え眩暈さえしました。

ブロック毎に、建物の屋上、屋根の色が国の予算で統一されており箱庭を眺めているようで、オリンピック開催時も古い建物等の恥部は囲って見えない状態にしていたニュースを思い出しました。

上海から西へ約 1,000 k m の宣昌市へ移動し、世界一の発電出力である三峡ダムの建設現場の見学。発電所建屋及び発電機室、ダム中央ブロック上部等一般客は立入厳禁の場所も公式使節団として特別許可されたものでした。

途中予定外だった三峡ダムの 38 k m 下流の葛洲壩 (カシュハ) ダムで観覧船で揚子江遊覧をする事が出来、川とは思えない中国大陸の広大さに圧倒されました。

< 初めての自分自身への貴重なお土産 >

当初の予定では空路上海へ戻る行程でしたが、急遽、武漢まで 250 k m の距離を高速道路でバス 4 時間の移動に変更され、さすが中国 ! と妙な感心をし、兎に角どこまでも真っ直ぐに伸びている高速道路をひたすら走り、予定の時間より早めに到着しました。

空路がバスでの移動に変更となった事、バスでの予定時間が短縮され時間が出来たことにより予定外の武漢博物館の見学が偶然出来た訳ですが、その偶然が重なった事により私にとっては過去を含めて自分自身への最大のお土産を手にする事ができました。

博物館では四川省の地震被害者への救援の為に回収された骨董品が展示販売されており、その中で光輝く水晶の観音様がやさしいお顔で私に何かを語りかけているようで一瞬身体が固まってしまいました。そのまま立ち去る事が出来ず日本にお連れしようと即断即決クレジットカー
た。信仰心とは無縁な
したが、これからの人
頂けるような心温ま



ドを手にしてしまし
人生を過ごしてきま
生に明かりを燈して
る感じがしています。



今、思うこと



フィデス株式会社

廣山 和仁



私は、平成 21 年 3 月まで 4 年制大学に通い、同年 4 月には晴れて社会人となりました。私が就職活動を行っていた時期は、ちょうどリーマンショックにより世界中が不況に陥っていました。一体、どれだけの国々や人たちがどれ程苦しい思いをしたかは、きっと私達の想像をはるかに超えるものであるはずで、日本には日本人なりの苦しみが生まれます。あるいは、世界中の方々が同じ苦しみを感じていたかもしれません。そのような世界情勢の中、私のようなたいした取り柄もないような者が無事に職に就けたことは、感謝しなくてはならないことであり、必ず将来何らかのかたちで会社に貢献し、恩返しのようなものが出来れば良いと思っています。入社以来そんなことを考えていた私も、早いものでありあと数ヶ月で 1 年目を終えようとしています。学生の頃は長く長く感じた 1 年が、今はこんなにも早く過ぎていきます。不思議という言葉は不適切かもしれませんが、達成感もなく、よく分からない気持ちでありとても感慨深いです。こんな私が、社会人 1 年目で考えたこと、思ったこと、経験したことは数知れず、まだ数ヶ月ありますが大変大事な年であったと思います。

仕事というものは、想像を超えていたわけではなくやはり辛く苦しいものでした。仕事だけやっていればいいという世界ではなく、人と接する時も相当の気を遣いました。当たり前ですが、向かってくる問題や壁からは絶対に逃げることはできず、毎日がトラブルだらけであり、あまり日々の記憶がないような気がするのはいくら私だけの経験ではないと思います。少し昔話になりますが、私は小学校から高校まで野球部に所属していました。体が大きいわけでもない私は、野球で必要となる筋力を鍛えるトレーニングが大嫌いでした。レギュラー争いみたいなことも嫌いであり、部活動に所属していた時は毎日が必死で本当に自分の為に行っているのかと悩み続けました。それでも何年も野球をやり続けた理由は、やはり野球が好きだからというほかないですが……。結局、部活動に所属することで得られるものというのは、つい最近まで気付くことが出来ませんでした。余談でしたが、学生時代、必死に生きてきた私であっても今年ほど必死であった年はなく、これからも変わることはないだろうと思っています。そんな日々の中、気付いた点もありました。それは、「目標・夢」というものがいかに大事かということです。よくドラマなどで「夢」と言われると、現実味がなく、世間では暑苦しいと思われがちです。

しかし、人が動く原動力は結局「目標」であったり、あるいはもっと大きく「夢」であり、これを土台に成長していくものだ勝手に考えています。私が、特に大事だと感じたことは、「目標・夢」を目指すことが大事なのではなく、目指す過程がもっとも大事なことでありと確信しています。努力さえすれば誰でも目標を達成出来るものではないことは、十分に理解しています。ただ、努力した人にしか見えない世界が必ずあると思います。ここからは、あくまでも私の考えです。よく学校の先生や両親が口うるさく、「人に優しく」とか「思いやりをもて」と言いますが、それらの気持ちは目標を目指し努力した過程で生まれるものであると思っています。それほど、「優しさ・思いやり」という言葉は、重く責任のある言葉であると考えています。言葉がもつ本当の意味というものは実に難しく、とても深いです。ある一単語がもつたくさんの種類の表現は、時に人を傷つけ、時に人にすごい力を与えます。そう考えている為、私は「夢・目標」という言葉が嫌いではありません。

最後にまた余談ですが、先ほど述べました部活動に所属することで得られるものというのは、「感謝することの大切さ」でした。ただ、こればかりは言葉では言い表せない為、大切と感じたきっかけの出来事をずっと忘れずに心の中にしまっておかなくてはなりません。本当に心から感謝するような出来事はそうそう忘れるものではありません。私の心の中には今でもたくさんの方々に感謝した記憶が、色褪せずに残っています。大変分かりづらい表現でしたが、これが部活動に所属したことで得られた感情です。

時折余談をはさみながらでしたが、何度も挙げさせていただいた通りこの1年間は大変重要な年となりました。今、思うことは、正しいにしろ間違っているにしろ、大切であることだと思います。きっとこの先色々な経験をしていく中で、これらの想いが自分のなかに強い信念として育っていくことを望んでいます。また、いつしかこの経験を子供たちの為にしっかりと胸を張って伝えられるように、自分自身を磨きあげていきたいと思っています。それが、私の「夢」です。



「安全チェック 重ねて築くゼロ災害」 ～さらに安全な現場をめざして～

株式会社セイコー電設

上村 勇也



11月17日に開催の「第20回安全衛生大会」において、安全スローガンに 私の応募したものが採用されました。

普段、現場で繰り返される安全行事には、正直「めんどくさいなあ」と思いながら行うこともありました。

今回のスローガンの採用を期に、改めて現場の労働災害防止について考えてみました。

多くの工事現場では朝礼から始まり、KY活動・TBMや工具・機械の点検等、長年培われたマニュアルによって何重にも安全チェックされます。

危険が伴う現場だからこそ 災害防止に対して積極的な取り組みをしています。

しかし、どんなに安全管理につとめても事故がなくなるのも事実です。

現場では、工事に携わるほぼ全員が、自分だけは労働災害とは無関係と思いながら作業に従事しているはず。また、安全活動に対しても、私のように「毎日めんどくさいなあ」と流されてしまっているのではないのでしょうか？

何気なく、危険な行動に気がつかずに作業することもあるでしょう。

危険な行動を見かけた時に、同僚はもちろん、たとえ他業者であってもひと言声をかけ合える。そんな関係をつくるのが大切だと思います。

それには、なにより”コミュニケーション”を深める事です。仲間意識から思いやりを持って安全チェックの声をかけ合うことが、災害防止につながるのだと思います。

さらに、災害を防止するには会社や現場の中だけでは十分だとは言えません。

私生活も重要な要因をもっているのではと思います。

体調面・精神面で不安定な私生活を送っているのは、作業に従事しても的確な判断ができるはずありません。体調万全であれば回避できる様な”ヒヤリハット”が重大な労働災害となってしまう事もあるでしょう。

どんなに現場の安全管理マニュアルにしたがって作業しても的確な判断ができなければ、事故は防ぐことができません。

やはり、十分な睡眠やバランスのとれた食生活により体調管理をし、家族や友人と楽しい有意義な時間を過ごし、精神的な安定を保つことも重要だと思います。

”コミュニケーション”を深め、万全な体調管理ができれば事故も減り、作業も安全にかつ順調に進み、尚いっそう現場での”コミュニケーション”が深まり、そして家族や友人とも楽しい時間が過ごせる。

このような、良い循環が生まれることが理想ではないでしょうか。



建設業界に入り思ったこと



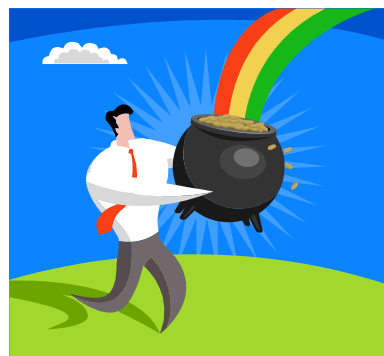
フィデス株式会社

海保卓也



私が建設業に就職をした動機は、幼いころに自宅を二世帯に増築した際、何もなかった所に建物が出来上がっていくという工程を見てとても感激したからです。それから建設業界に興味を持ち、専門学校に進み、縁あって現在の会社に就職しました。

現在の会社では設備の現場監督見習いとして働いております。入社して実際に現場に出て思ったことは、見るもの全てが新鮮で、今まで見たことのなかった建物の裏側を見て、とても感動しました。それと同時にこんな事を一人で出来るようになるのかと素直に思いました。先輩方の話の内容が分からない、何をすればいいのかも分からない日々が続き、建築の専門学校を卒業した事で、多少の知識はあるつもりでいましたが、実際に現場で働く様になり自分の考えの甘さを痛感しました。それから先輩の行動、職人さんとの会話などを必ずメモをとるくせをつけ、分からなかった事を調べる。調べても分からないことは先輩に聞き、メモをとる。これを習慣づけ仕事をする様になりました。それから、少しずつ話分かるようになったと同時に、分かるということがとても楽しい事だと気付きました。設備の仕事に携わる様になってから設備への考え方が変わりました。正直、今までは建築の外観や内装などばかりに目がいていましたが、設備がなければ建物が完成しても人は生活することが出来ないし、充実した設備があるからこそ人の暮らしは豊かになるのだと思うようになりました。まだまだ職人さんに指示を出すというよりも職人さんに仕事を教えて頂いているような現状ですが毎日覚えることがどんどん出てきて、充実した日々を送っております。これからも一人前を目指し、職人さんやお客様から信頼されるような現場監督になれるよう努力を続けていきたいと思っております。



安全衛生功労者表彰を受賞して…



株式会社後藤電設

山田 章治

平成21年度、衛生業務 永年従事表彰をさせていただき、誠に有難うございます。

特別なことを特別に行ったという実感はなく、普段通りの生活、業務を行ってきた次第です。

弊社の社長ならびに従業員の力添えもあり表彰させていただき、会社一同喜んでおります。重ねて御礼申し上げます。

健康、安全第一と考え、事故のないように全産業、共通で頑張りましょう。

若い人は若いパワーを、年配の人は積み重ねた経験を、お互いに利用して、寄り良い社会、生活に生かせることを希望いたします。

行事「1年を振り返って…」

行事

第46回通常総会開催

日時：平成21年2月27日

場所：オークラ千葉ホテル



平成21年2月27日金曜日13時00分からオークラ千葉ホテルにおいて第46回通常総会が開催されました。

会員数110名の内過半数にあたる出席者104名(内表決委任者23名、書面表決者30名)の報告があり、総会が適法に成立した旨報告、富田副会長が「開会の辞」を述べ開催となりました。

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 第1号議案 | 平成20年度事業報告承認の件 |
| 第2号議案 | 平成20年度収支決算報告承認の件
並びに監査結果報告 |
| 第3号議案 | 平成21年度会費改定(案)承認の件 |
| 第4号議案 | 平成21年度事業計画(案)承認の件 |
| 第5号議案 | 平成21年度収支予算(案)承認の件 |
| 第6号議案 | 任期満了に伴う役員改選の件
(新役員名簿は協会役員のページに記載) |

以上をもって、議事全部を終了し、15時45分閉会しました。

懇親会

総会後の懇親会においては、並木会長から主催者挨拶、堂本暁子前知事他より祝辞をいただきました。

また今年度も大スクリーンにて協会の事業活動を来賓の方々また会員皆様に報告いたしました。

(社)千葉県空調衛生工事業協会会長の乾杯の音頭の後、関係団体代表多数の来賓とともに歓談し、成功裡に閉会いたしました。

功労者表彰

日時：平成21年2月27日

場所：オークラ千葉ホテル

功労者表彰

本協会の表彰規定に基づき、長年にわたり協会の委員として活躍された4名の方々がこの度表彰されました。

功労者表彰受賞者

(株)アライ照明	荒井	光江	様
(株)高岡電機店	高岡	公代	様
日立電工(株)	近藤	信幸	様
モデン工業(株)	田中	宏幸	様



三県連絡会議（秋期）の開催

日時：平成21年11月24日

場所：川越プリンスホテル

（出席者）

千葉県電業協会 並木会長・輪湖副会長・五十嵐常任理事・杉本事務局長
神奈川県電業協会 内藤会長・伊藤副会長・十八副会長・山口副会長・大竹常務理事
埼玉県電業協会 佐野会長・荻野副会長・島村副会長・岡村副会長・吉村常任理事
小椋理事・岡島理事・佐藤理事・小林理事・荒川事務局次長

千葉・埼玉・神奈川県の電業協会で構成する「三県連絡会議」は平成21年5月14日千葉開催に続き秋季は埼玉県主催で開催されました。

（議題） 【今後の協会のあり方について】

（1）防災協定について

埼玉県中央防災基地(比企郡川島町)の見学

県の防災の取組みについて

各県の防災協定に基づく協会としての取組みについて

（2）三県ワーキンググループの中間報告について

（3）各県の現況と将来の展望について

（4）その他



平成21年度会員交流会（地区オーナー懇話会）

議 題 テーマ：『協会の未来を語る』

日 時：平成21年10月16日(金)

場 所：鴨川館(鴨川市)

出席数：42名

テーマ：『協会の未来を語る』



例年各地区において開催しておりました「地区オーナー懇話会」ですが、今年度は、出席数が開催毎に減少していることや景気の低迷により近年では会員が一同に会する機会が少なくなっていることなどから名称も『会員交流会』と改め千葉県内でも代表的な観光地鴨川にて開催をいたしました。

会議には42名の会員が出席し全体会及び各地区に分かれての分科会にて今回のテーマである『協会の未来』について活発な意見交換が行われました。

当日出された意見・要望等につきましては協会ホームページ(会員専用)に掲載しておりますのでご覧ください。



第26回総合技術コンクールに参加して

日時：平成21年11月28日

場所：千葉県立市川工業高等学校

《主催》 千葉県高等学校工業教育研究会

《共催》 千葉県教育委員会

出席者 輪湖副会長・五十嵐常任理事・荒井理事
鈴木理事・植草理事・徳久氏

当協会の事業として後継者育成や業界への若手技術者育成が課題として取り上げて参りましたが、本年より工業高等学校の先生との意見交流会に続き、工業高等学校にて行われる総合技術コンクールの後援を行うこととなりました。

本年は市川工業高等学校にて行われ、機械2部門・電気2部門・化学・建設2部門・計算技術・ロボット・ライントレースカーと10部門に分かれてコンクールが開催されました。

我々が見学をしたのは電気工事の部門で60分の間に縦900×横900mmの合板に、配線工事を行い9校18名にて競技が行われました。

選手達は、一斉にスタートし相当な練習をしてきている様子で、ゴミなども散らかすことなく真剣に作業を進めていく姿には、感動を覚えました。

競技は、中盤にかかるとスタート前に材料の配置などの段取りをしていた選手や、緊張から遅れの出ている選手も居て差が出ましたが、ほとんどの選手が時間通りに終わることが出来、その後、先生と東京電力審査員による採点がされました。

我々の業界も若手技術者が少なくなり、工具や材料の開発に連れ技術力が低下してきていると言う問題をよく耳にします。このように若手が技術に触れることの出来る場があり、業界に興味を持って頂けることが、業界の底上げの一歩では無いかと思いました。

当日は、多忙にも係わらず、ご案内頂きました工業高等学校の先生達に感謝申し上げますと共に、未来の技術者達を見学することが出来たことに感謝申し上げます。

報告者：経営・企画委員会 副委員長 植草 宏介



会員行事

安全衛生大会

日時 11月17日(火) 13時～

場所 オークラ千葉ホテル

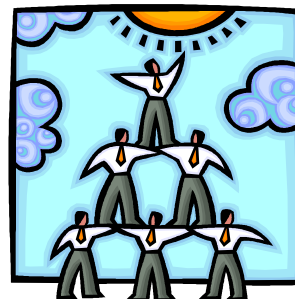
講師 千葉労働局

労働基準部安全衛生課

課長 神田公司氏

テーマ 「労働災害の防止について」

大会スローガン



「安全チェック重ねて築くゼロ災害」

参加者 会員71名



技術講習会

日時 11月17日(火) 14時45～

場所 オークラ千葉ホテル

講師 パナソニック電工

電材商品営業企画部

坂本勝紀氏

テーマ 「省エネ改善でビジネスチャンス創出」

参加者 会員68名



安全パトロール

日時 11月4日(水) 10時~12時

場所 (仮称)千葉県立千葉ニュータウン高等学校工事現場事務所
(フィデス 株式会社)

参加者 防災・安全委員等18名

発注者 千葉県



会員行事

女性部会研修会

日時 8月26日(木) 11時～
場所 建設業センター3階会議室
講師 アヅサ電気工業(株)
代表取締役会 長輪湖葆子氏
テーマ 「思考の整理」～3次元の考え方～
参加者 会員17名



後継者講習会

日時 9月25日(金) 14時～
場所 きぼーる
講師 大嶋会計事務所
所長 大嶋良弘氏
テーマ 「後継者が考えなければならない事業継承」
参加者 会員18名



委員会報告 経営・企画委員会

委員長

荒井 光江



今年度から経営・企画委員会の委員長を務めさせていただく事になりました。当初は、戸惑いばかりでしたが皆様の御力をお借りする事により、無事に1年を経過する事が出来ました。感謝申し上げます。

今年から「総務・経営委員会」を「経営・企画委員会」へと名称が変わり活動しております。工業高校との意見交換会の開催や工業高校技術コンクールの後援など連携を強化し 又、会員の方々へのアンケートを行い、御意見等を委員会活動の中で反映して行きたいと思っております。御協力の程、御願い申し上げます。

○主な行事

経営・企画委員会

総会・懇親会

開催日 2月27日(金)

場 所 オークラ千葉ホテル

機関誌発行

1月 1日 千電協会報第35号 (協会ホームページ掲載)

8月24日 千電協だより第55号 (協会ホームページ掲載)

工業高校との情報交換会

開催日 6月25日(木)

場 所 オークラ千葉ホテル

内 容 「電設業界の現状について」

「工業高校の現状について」

参加者 千葉県教育庁 指導主事 菊地 貞介 様

(財)千葉県産業復興センター

産業人材育成コーディネーター 須之内 義昭 様 他

工業高校7校の先生方 17名

協会役員、委員 10名

第1回目となりました工業高校との情報交換会は、先生方から次回の開催を希望する意見が多数あった為、来年度は会員の方々からの参加を募集するなどして参加対象者を拡大する予定になっております。

経営講習会

開催日 7月23日(木)
場 所 オークラ千葉ホテル
内 容 「電子入札・電子納品システムの運用について」
講 師 (電子入札について)
千葉県県土整備部 営繕課 企画調整室 主査 藤井 正範 様
(電子納品について)
千葉県県土整備部 建設・不動産課 建設・契約室
副主査 川名 進也 様

受講者 39名

スクリーンとテキストを使った説明に参加者は熱心に耳を傾けていました。

女性部会研修会

開催日 8月26日(水)
場 所 千電協会議室
内 容 「思考の整理」～三次元の考え方～
講 師 アツサ電気工業(株) 代表取締役会長 輪湖 葆子 様
受講者 17名

思考の整理のきっかけ・社長就任から千葉県電業協会との係わり・女性会について・男女共同参画への取組み等々の盛り沢山の内容に時間を延長し、昼食をはさみながら和やかに行われました。

後継者講習会

開催日 9月25日(金)
場 所 きぼーる会議室
内 容 「後継者が考えなければならない事業継承」
講 師 大嶋会計事務所 所長 大嶋 良弘 様
受講者 18名

講師の大嶋氏自身の体験談を交えながら、事業継承の様々な方法を分かりやすく説明して頂きました。

この一年、副委員長を始め委員の皆様及び事務局長や職員の皆様のおかげをもちまして、今年度の委員会活動は無事に終了致しました、有難うございました。

22年度の講習会・研修会は、会員の方々からの御要望を受けてリニューアルするとともに内容を充実、又、協会ホームページの刷新をする予定でございます。

これからも努力を重ねて行きたいと思っております。今後とも御指導を宜しくお願い申し上げます。

以上報告と致します。



委員会報告 防災・安全委員会

委員長

大 嶋 敏 樹



防災・安全委員会としての全事業を終了し今年も委員会活動報告書を書く時期になりました。

当委員会、年間最後の行事である11月17日の安全衛生大会終了後、第6回委員会（最終）を11月27日に開催し、今年度の成果・反省及び次年度目標を話し合い災害については対策本部を設置するような事も無く、又、安全についても会員企業より重大事故の報告も無く改めて「今年も”無事で”良かったと」実感しています。

そして今年は昨年よりの懸念事項であった安全パトロールが実施できた事がなによりも嬉しいことでありました。

御協力頂いた千葉県立千葉ニュータウン地区高等学校校舎電気設備工事受注企業のフイデス株式会社社長様及び関係各者の皆様にはこの紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

次に本年度の主要事業を記載致します。

主な行事

防災・安全委員会

1) 香取地域整備センター管内水防合同訓練

日 時 6月18日(木) 14時～16時

場 所 香取市佐原・利根川河川敷

出席者 大嶋委員長、横川方面主任、班員2名、委員1名

2) 海匠地域整備センター管内水防合同訓練

日 時 6月25日(木) 13時30分～15時50分

場 所 旭市 横根海岸

参加者 大嶋委員長、横川方面主任、屋代班長、班員1名、委員1名

- 3) 千葉地域整備センター管内水防合同訓練
 日 時 7月29日(水) 9時～11時30分
 場 所 千葉市美浜区県立幕張海浜公園
 参加者 鎌田副委員長、班員7名、会員1名
- 4) 普通救命講習会
 開催日 6月17日(水)
 場 所 建設業センター3階会議室
 講 師 千葉市中央消防署 上田氏他1名
 参加者 13名(普通救命講習修了証交付)
- 5) 防災連絡会議
 開催日時 8月4日(火) 13時30分～15時
 議 題 災害連絡網について
 災害時における県土整備部の対応計画第2配備に係る配備体制、水防本部水防指令情報伝達システムに係る連絡先
 平成21年度震災訓練について
 参加者 方面主任 7名 委員6名
- 6) 県土整備部との合同震災訓練
 開催日時 9月
 場 所 各県出先機関
 参加者 各地区班員
- 7) 安全パトロール
 開催日時 11月4日(水) 10時～12時
 場 所 (仮称)千葉県立千葉ニュータウン高等学校工事現場事務所
 (フィデス 株式会社)
 参加者 防災・安全委員等18名
 発注者 千葉県
- 8) 安全衛生大会
 開催日時 11月17日(火) 13時～14時30分
 場 所 オークラ千葉ホテル
 来 賓 千葉労働局労働基準部安全衛生課長 神田 公司 氏
 千葉県県土整備部建設・不動産課
 課 長 飯田 宏行 氏
 建設業・契約室主事 前田 圭介 氏
 スローガン 「安全チェック 重ねて築くゼロ災害」
 表彰 安全功労者 3名 スローガン優秀作品4名
 特別講演 「労働災害の防止について」
 講 師 千葉労働局労働基準部安全衛生課課長
 神田 公司 氏
 参加者 会員71名

この1年を振り返り、事務局長及び職員の方々にはお世話になり一緒に活動していただいた副委員長はじめ委員の皆様、お疲れ様でした。また会員皆様のご協力と訓練参加の中で、無事に過ごせた事を感謝いたします。

今年度の安全衛生大会で宣言した”安全チェック 重ねて築く ゼロ災害！！”を合言葉に我々の安全・安心を得るため、この委員会のますますの充実を図りその事が会員企業の利益に結びつくよう協会は努力致しますので引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いし、報告書と致します。



委員会報告 技術・渉外委員会



技術・渉外委員会委員長

鈴木利雄

技術渉外委員会と致しましては、継続事業を行っていく中で、今後の事業について委員の皆様と議論してまいりました。本年の事業を一つずつ振り返り報告と致します。

電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会

1級

開催日：5月16日(金)～18日(日)

場所：建設業センター(3階会議室)

受講者：11名

2級

2級については、受講者が少なく中止せざる負えませんでした。2級受講希望者には、大変申し訳れ無く思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

協会事業の一環として、例年実施しておりますが今回の事が無いように本年は事前にアンケート調査を行い、講習会を実施するべきかどうか検討してまいります。

2009年電設工業展 見学研修会

開催日：

場所：

参加者 会員46名 賛助会員 1名 県関係 17名 の参加を頂きました。

電設工業展は、(社)日本電設工業協会が毎年1回行います。東京と大阪と1年おきに開催されております。

「電気技術でエコライフ! 地球に優しく豊かな未来」をテーマに、出展企業192社と大規模な開催となりました。環境問題が最優先で取り上げられている時に、まさに時代の最先端技術を見る事が出来、大変参考になった研修会でした。

本年は大阪開催の為、協会と致しましては参加いたしませんでしたが、何らかの形で資料提供できればと思います。

技術講習会

開催日：11月20日(火)

場所：オークラ千葉ホテル

講師：パナソニック電気(株)首都圏電材 EC 氏

会員の皆様の技術力向上に、少しでもお役に立てるように本年はパナソニック電気(株)の坂本様をお招きして、「省エネ改善でビジネスチャンス創出」をテーマで講演いただきました。

今後、LED照明にかわっていく環境の中で、いかにビジネスにつなげて行くか勉強になった事と思います。

県出先機関への陳情状況

本年は、知事選も有り人事異動の日程が遅れると言う事で、5月中旬に出先機関への挨拶を行いました。優先指名を目的とし、人事異動時の年1回挨拶を行ってきましたが、より一層の優先指名をお願いする為、本年は秋ごろの陳情も実施する予定です。

5月21日 (千葉地区) 千葉地域整備センター他4ヶ所

5月29日 (南総地区1) 安房地域整備センター他3ヶ所

5月29日 (南総地区2) 君津地域整備センター他6ヶ所

5月30日 (東総地区) 山武地域整備センター他4ヶ所

6月03日 (千葉地区) 市原整備事務所他7ヶ所

6月05日 (東葛地区) 東葛飾地域整備センター他3ヶ所

6月10日 (東総地区) 印旛地域整備センター他9ヶ所

6月11日 (葛南地区) 葛南地域整備センター他8ヶ所

6月12日 (東葛地区) 栗山浄水場他3ヶ所

賛助会員と技術・渉外委員会との懇談会

本年は参加数の減少の為、中止せざる負えませんでした。今後の展開の中、技術講習会等で賛助会員が、PR出来る場がないか、委員会で検討して行いたいと思います。

最後に、初めて委員長を仰せつかり副委員長を始め委員の皆様のご協力を頂きまして、無事1年間終える事が出来ましたこと、感謝申し上げます。有難うございました。又、事務局の皆様にもお世話になりました。有難うございました。





会員消息

表彰

(正会員)

(株)電機産業

平成21年6月24日

市川市 平成21年度優良建設工事表彰

(株)後藤電設

平成21年7月27日

柏市 平成21年度優良建設工事表彰

竹森電設(株)

戸田 法生

平成21年8月6日

船橋市 平成21年度優秀現場技術者表彰

フィデス(株)

金子 隆史

平成21年9月10日

全国建設業労働災害防止大会安全衛生功労賞表彰

(株)間宮電気工業

平成21年11月11日

千葉県 平成21年度優良建設工事表彰

アイシン電気工事(株)

平成21年11月18日

千葉県 平成21年度県建設雇用改善優良事業所表彰

社名変更

(正会員)

(新)

(株)水郷電設

(旧)

(有)水郷電設

平成21年11月4日

組織変更

(賛助会員)

(新)

東芝電材マーケティング(株) 東日本電材社 千葉支店

(旧)

東芝電材マーケティング(株) 首都圏電材社 千葉支店

平成21年10月1日

代表者変更

(正会員)

(株)電洋社

平成21年6月18日

代表取締役

新>浮谷直之 旧>河野純生

(株)共栄電気工業所

平成21年10月1日

代表取締役

新>高橋義隆 旧>高橋武夫

(株)木村建設

平成21年11月24日

代表取締役

新>山根悦夫 旧>早田寛

役職者変更

(賛助会員)

東芝電材マーケティング(株) 平成21年7月 1日

首都圏電材社

支店長

新>佐藤 安行

旧>松尾 義隆

住所等変更

(賛助会員)

東芝ライテック(株)千葉営業所 平成21年10月1日

新>〒260-0024 千葉市中央区中央港2-4-1 TEL043-247-7210

東芝電材マーケティング(株)千葉支店内 FAX043-247-5411

旧>〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 TEL043-247-7210

FAX043-247-5411

訃報

(正会員)

(株)間宮電気工業

代表取締役

間宮 大輔

実父

間宮 良二 様 享年92歳

平成21年3月6日

富士電設工業(株)

代表取締役

根来 康師

実母

根来 恵子 様 享年74歳

平成21年5月9日

(株)鎌田電機

代表取締役

鎌田 哲男

実父

鎌田 喜一郎 様 享年92歳

平成21年9月14日

(株)目黒テクノス

代表取締役

坂本 喜一

実母

坂本 ヨツ 様 享年96歳

平成21年10月5日

入会

(正会員)

(株)新葉電気工事 平成 21 年 7 月 14 日

(株)水郷電設 平成 21 年 9 月 25 日

退会

(正会員)

(有)八幡電気 平成 21 年 2 月 28 日

越中電気工業(株) 平成 21 年 2 月 28 日

(有)日本電気商会 平成 21 年 3 月 31 日

(株)大和電機 平成 21 年 5 月 18 日

金子電気工業(株) 平成 21 年 11 月 30 日

(賛助会員)

(株)ジーエス・ユアサライティング 平成 20 年 12 月 31 日

スズデン(株) 平成 21 年 3 月 31 日

平成21年度 会務報告

1月					
日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
13	火	県新年挨拶 常任理事会 理事会 神奈川県電業 賀詞交歓会 総会懇親会案内	1000 1300 1500 1600	県庁 協会会議室 協会会議室 横浜ベイシエラトンホール	常任理事、局長 常任理事3名 理事8名 欠
14	水	総会懇親会案内	1400	県庁、幕張	局長
15	木	空衛協 賀詞交歓会 男女共同参画推進連携会議全体会	1700 1330	オークラ千葉ホール ホールポトプラザ千葉	会長、事務局長 総務・経営委員会5名
16	金	総会懇親会案内	1400	県庁、幕張	局長
19	月	20年度決算監査	1100	協会会議室	輪湖副会長、五十嵐理事、増田・渡辺・御園生監事
22	木	企業・工業高校交流会	1300	市川工業高校	輪湖副会長・五十嵐委員長・荒井委員・田中委員
28	水	電設協 電設工業展実行委員会	1200	グラウンドアーク半蔵門	瀧名理事
29	木	千葉県電気協会理事会 " 新春講演会 電設協 理事会	1130 1330 1330	三井ガーデンホテル千葉 三井ガーデンホテル千葉 グラウンドパレス	富田副会長 会長
2月					
日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
2	月	関東地区協議会 事務局担当者会議	1200	東京電業会館	局長
3	火	電設協 経営企画委員会	1415	電設協	輪湖副会長
4	水	関東地区協議会	1700	SCB市ヶ谷荘	会長
10	火	常任理事会 理事会	1300 1500	協会会議室 協会会議室	常任理事3名 理事8名
17	火	県 総会打合せ	1600	県庁	局長
24	火	男女共同参画産業部会	1000	県庁 大会議室	総務・経営委員会担当者2名
27	金	理事打合せ 46回通常総会 懇親会	1200 1330 1600	オークラ千葉ホール	理事8名 会員51名 会員42名賛助会員14名ご招待者36名他1名 計93名
3月					
日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
2	月	経営者講習会 CCI 1ちは表彰式・ビジネスマン発表会	1330 1330	オークラ千葉ホール "	会員9名 富田副会長
3	火	冷媒回収技術者登録講習会	930	教育会館	直接申込
5	木	県 総会お礼	1300	県庁	会長、局長
6	金	男女共同参画社会づくりネットワーク会議	1330	教育会館	総務・経営委員会
10	火	常任理事会 理事会 歓送迎会	1300 1500 1700	協会会議室 協会会議室 オークラ千葉ホテル	常任理事4名 理事10名 役員15名事務局
11	水	アスベスト問題対策研修会 公益法人講習会(ベリソフ)	1400 1100	千葉県文化会館 新宿	会員(直接申込) 局長
13	金	建産連 事務局長会議	1200	建設業協会会議室	局長
17	火	雇用改善推進委員会	1200	オークラ千葉ホール	局長
23	月	技術・渉外委員会	1330	協会会議室	委員会7名
25	水	経営・企画委員会	1530	協会会議室	委員会7名
26	木	電設協 理事会 建産連 正副会長会議	1100 1100	ホールグラウンドパレス 建設業センター 5階	会長 富田副会長

4月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
1	水	辞令交付	1000	協会会議室	会長
8	水	電設工業展実行委員会 防災・安全委員会	1200 1500	グランドアーク半蔵門 協会会議室	鈴木・渡辺理事 委員会 名
14	火	移動理事会		伊東	理事・監事12名事務局2名
15	水	電設協 経営企画委員会	1500	電設協	輪湖副会長
21	火	技術・渉外委員会	1330	協会会議室	委員会8名
24	金	電設協 理事会	1330	グランドパレス	会長
27	月	市川工業高校情報交換会	1400	市川工業高校	輪湖副会長・荒井委員長・植草副委員長

5月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
11	月	経営・企画委員会 県出先機関異動挨拶	1530 900	協会会議室 千葉地区	委員7名 富田副会長、鈴木理事、長谷部委員、事務局長
12	火	900県異動挨拶 1300常任理事会 県出先機関異動挨拶	1300	協会会議室 東総地区	常任4名 事務局長 大嶋理事、高岡委員
13	水	電設協 14:50評議員会 15:30総会 理事会 千葉県電気協会 理事会 県出先機関異動挨拶	1130	グランドパレス 三井ガーデン千葉 南総2地区	会長(総会理事会懇親会) 輪湖副会長・五十嵐常任(評議員会) 富田副会長 鈴木理事、細矢経営企画委員
14	木	三県連絡会議	1500	オークラ千葉H	理事9名・埼玉県5名・神奈川県5名
15	金	1級電気工事施工管理技術検定試験受験講習 県出先機関異動挨拶	900	千葉県建設業センター3階 葛南地区	受講生11名 輪湖副会長、植草理事、近藤委員
16	土	1級電気工事施工管理技術検定試験受験講習	900	千葉県建設業センター3階	受講生11名
17	日	1級電気工事施工管理技術検定試験受験講習	900	千葉県建設業センター3階	受講生11名
19	火	1級講習会お礼 公益法人改革講習会		県庁 海浜幕張	局長 局長
20	水	千葉県建設業協会 総会懇親会 千葉県空調衛生工事業協会 総会懇親会	1630 1600	オークラ千葉H スプリングス幕張	輪湖副会長 五十嵐常任、事務局長
25	月	団体事務局長会議	1600	自治会館	事務局長
27	水	電設工業展開場式・レセプション 電設工業展見学研修会		ビッグサイト ビッグサイト	富田副会長 会員46名、賛助会員1名、県関係17名、局長 65名

6月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
2	火	冷媒回収技術者登録講習会 副知事面談	930 1000	教育会館 県庁	直接申込 会長・富田・輪湖副会長・五十嵐常任・宮内顧問・局長
3	水	関東地区協議会 1700懇親会 防災・安全委員会	1500 1500	東京電業会館 協会会議室	会長 委員6名
4	木	～5日 千葉県電気協会総会・見学会 三県WG事務局長打合せ	1400	茨城県 都内	富田副会長 局長
5	金	県産連 正副会長会議 理事会	1100	建設業協会会議室	会長
8	月	県打合せ CCI協議会	900 1500	県庁 自治会館	局長 会長
9	火	常任理事会	1300	協会会議室	常任理事4名
11	木	公益法人講習会	1430	勤労福祉会館	局長
12	金	工業高校情報交換会議(産業振興センター)	1400	中小企業会館	輪湖副会長・荒井・植草理事・局長
15	月	県打合せ (証明書発行)	1430	施設改修課	会長・富田副会長・局長
16	火	海匠地域整備センター水防打合せ 経営・企画委員会	1400 1530	海匠地域整備センター 協会会議室	山口電気商会(香取・海匠) 委員6名
17	水	普通救命講習会	1330	センター会議室	会員 名、委員2名
18	木	香取地域整備センター水防訓練 水道局 防災打合せ	1400 1400	利根川河川敷 幕張	香取・海匠方面3社、委員会 名、 局長
19	金	県産連総会・懇親会	1600	ポートプラザ千葉	会長、局長
23	火	未来PJ	1500	協会会議室	五十嵐常任、鈴木理事、植草理事、佐藤委員、近藤委員
25	木	工業高校との交換会 海匠地域整備センター水防訓練	1400 1330	オークラ千葉ビル 旭市 横根海岸	理事 名・委員 名・学校 名 香取・海匠班4社、委員会 名
26	金	銚子整備事務所 水防会議	1400	銚子整備事務所	西谷電気商会

7月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
3	金	県打合せ	1500	県庁	局長
6	月	千葉地域整備センター水防訓練事前打ち合わせ	1500	千葉地域整備センター	局長
9	木	うすい正一各種団体・地域代表者会議	1730	ペリエホール	富田副会長
14	火	常任理事会 理事会	1300 1500	協会会議室	常任理事4名 理事10名
15	水	電設協 経営企画委員会 千葉県電気協会千葉支部総会・見学会	1500 1250	電業会館 かずさDNA見学他	輪湖副会長 鈴木理事
22	水	県打ち合わせ 公益法人講習会	1000 1300	県庁 三井ガーデンビル	富田副会長、局長 局長
23	木	電設協 理事会 経営・企画委員会 経営講習会「電子入札・納品」	1100 1030 1330	会長 協会会議室 オークラ千葉H	グラントパレス 委員7名 会員35名
27	月	自民党各種団体長懇談会	1300	サカデノ千葉	会長
29	水	千葉地域整備センター水防訓練 男女共同参画 合同部会	900 1400	幕張の浜・点検箇所 ポートプラザ千葉	千葉班員4名委員会1名会員4名 委員会3名、局長
31	金	建築事業関係入札制度改正説明会	1330	三井ガーデン千葉	会員34名

8月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
4	火	防災連絡会議 防災・安全委員会	1330 1500	協会会議室 協会会議室	委員会6名・方面主任7名 委員6名
5	水	三県WG	1330	東急電業会館会議室	五十嵐常任・鈴木理事・植草理事・局長
7	金	千葉県電気協会総会・講習会	1400	三井ガーデンH千葉	鈴木理事
19	水	上期監査	1100	協会会議室	監事3名・輪湖副会長・荒井理事・事務局
26	水	女性部会研修会	1100	協会会議室	会員13名・委員会5名

9月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
1	火	合同震災訓練 防災・安全委員会	800 1330	協会会議室、他県内 協会会議室	中止 委員会6名
2	水	技術・渉外委員会 未来を考える会	1500 1700	協会会議室 協会会議室	委員会7名 担当4名
3	木	経営・企画委員会	1530	協会会議室	委員会5名
8	火	常任理事会 理事会	1300 1500	協会会議室 協会会議室	常任理事3名 理事9名
15	火	電設協 経営企画委員会 公益法人セミナー	1500 1000	電設協 日本橋	輪湖副会長 藤田事務局員
16	水	鎌田電機告别式	1200	鴨川	局長
17	木	労働局他出席依頼		労働局・県庁	局長
18	金	電設協 理事会	1330	グラントパレス	会長
24	木	公益法人セミナー	1000	日本橋	局長
25	金	後継者講習会	1400	きぼーる	会11名委員会7名

10月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
2	金	～ 4日2級電気工事施工管理技術検定試験講習会			中止
13	火	表彰委員会 常任理事会	1300 1315	協会会議室 協会会議室	常任4名・経営企画委員長 常任4名
16	金	会員交流会（地区オーナー懇話会）	1400	鴨川館	会員40名
20	火	経営・企画委員会	1500	協会会議室	委員7名
28	水	三県WG 県 公益法人改革説明会	1500	東京電業会館 京葉銀行ホール	五十嵐常任・鈴木理事・植草理事・局長 事務局

11月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
4	水	安全パトロール(県立印旛明誠高校) 防災・安全委員会	1000 1500	印西市 協会会議室	委員8名県6名局長 委員7名
9	月	建産連 県との意見交換会 男女共同参画連携会議合同部会	1000 1345	H&T ちば H&T ちば	会長・事務局長 委員3名
10	火	常任理事会 理事会	1300 1500	協会会議室 協会会議室	常任4名 理事10名
17	火	安全衛生大会 技術講習会	1300 1500	オーク千葉H オーク千葉H	会員71名 会員68名
18	水	建設業雇用改善推進大会	1330	オーク千葉H	7/29電気工事・会長・事務局
20	金	経営・企画委員会	1500	協会会議室	委員8名
24	火	三県連絡会議	1400	川越アリスH	常任3名・局長
26	木	電設協 理事会 公益法人セミナー	1100 1000	グラントハリス 鍛冶町	会長 事務局
27	金	賛助会員との情報交換会 防災・安全委員会	1600 1800	オークラ千葉ビル 市内	中止 委員7名
28	土	総合技術コンクール	930	市川工業高校	会員5社

12月

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
2	水	未来を考える会	1500	協会会議室	委員4名
8	火	常任理事会 役員会	1300 1500	オーク千葉H オーク千葉H	常任4名 役員12名
9	水	電設協関東支部 関東地方整備局懇談会 電設協 経営企画委員会	1100 1600	丸玉 電設協	会長 輪湖副会長
17	木	三県連絡会議WG	1500	東京電業会館	五十嵐常任・鈴木理事・植草理事・事務局

役員

役職名	氏名	会社名
会長	並木 鷹 男	フィデス(株) 代表取締役
副会長	富田 武	富田電機工業(株) "
"	輪湖 葆子	アツサ電気工業(株) 代表取締役会長
常任理事	五十嵐 治 美	友信電気(株) 代表取締役
理事	大嶋 敏 樹	(有)大嶋電機工業 "
"	鈴木 利 雄	(株)鈴木電気 "
"	渡辺 勝	渡辺電機水道(株) "
"	鎌田 哲 男	(株)鎌田電機 "
"	荒井 光 江	(株)アライ照明 "
"	植草 宏 介	共立電設(株) "
監事	濱名 敏 功	ニテデン工業(株) "
"	大嶋 良 弘	大嶋会計事務所 所 長

顧問

役職名	氏名	会社名
顧問	宮内 三 朗	元千葉県議会議長
"	會田 晃 司	前協会副会長(会田電業(株)代表取締役社長)

賛助会員役員

役職名	氏名	会社名
代表幹事	山平正純	パナソニック電工(株) 千葉電材営業所長
監事	厩屋伸之	千葉電機(株) (株) 代表取締役
"	松尾義隆	東芝電材マーケティング(株)首都圏電材社 千葉支店長
"	宮川欣丈	宮川電気通信工業(株) 代表取締役
"	恒屋隆之	ニッタン(株) 千葉支店長

会員名簿（平成22年1月1日現在）

1. 正会員

（五十音順）

アイシン電気工事（株）	高率電設（株）	東神電設（株）
会田電業（株）	（株）後藤電設	東陽電気工事（株）
アツサ電気工業（株）	（株）子安電気工業	東立電設（株）
（株）アライ照明	（株）佐栄電気	富田電機工業（株）
イーアンドイーシステム(株)	（株）三和電設	豊田電気（株）
（有）石本電設工業	（有）三冷設備	（有）中之島電工
伊藤電業（株）	（有）島野電気	（株）ナラデン
浦安電設（株）	昌信電機工事（株）	南総電機（株）
（株）栄光社	城山電機(株)	（有）内藤電機
（株）栄電社	（株）新千葉電設	（株）西谷電気商会
（株）エス・アイ・シー	（株）新都市サービスセンタ	ニチデン工業（株）
（有）大熊電気工事店	(株)新葉電気工事	（株）野田電機
大崎電設（株）	(有)水郷電設	（株）八光電気工業
（有）大嶋電機工業	（株）鈴木電気	（有）濱田電業社
（株）オーム電設	(株)砂原電気工業所	菱木商会（株）
（株）岡田電気工事	（株）誠進電業社	日立電工（株）
（株）春日電設	（株）セイコー電設	（株）平野電設
（株）金子電気工業	関口電気（株）	富士電設工業（株）
（株）鎌田電機	誠光電設（株）	フィデス（株）
環境テクノス（株）	(株) 盛電社	(株)ベイ・エレクトクス
キミデン工業（株）	（株）星和電工	房総電機工業（株）
（株）木村建設	（株）大英電業社	北総電機産業（株）
（株）共栄電気工業所	大秋電気工業（株）	（株）増田電気工業所
（株）協電工業	（株）高岡電機店	（株）間宮電気工業
（株）協同電業社	高岡電気(株)	（株）目黒テクノス
（株）協雄電設	（株）高橋電設	モデン工業（株）
共立電設（株）	滝口電気工業（株）	（株）森電気工業所
共和電気工事（株）	竹森電設（株）	（株）山口電気商会
共和電設（株）	タテミチ電設（株）	友信電気（株）
工藤電機工業（株）	田中電気工務店	横尾電設（株）
玄海電設工業（株）	（有）谷中電気商会	横川電機（株）
（株）小池電機	俵屋電気工事（株）	(株)吉田電設
（株）小磯電気工業	千葉電建（株）	六幸電気工業（株）
（株）光栄電設工業	（株）電機産業	渡辺電機水道（株）
（株）興電社	（株）電洋社	（株）和幸電気工事
幸洋電設（株）	（株）東照電気	107名

2. 賛助会員

大崎電気システムズ（株）	パナソニック電工（株）	アイホン（株）
千葉電機（株）	因幡電機産業（株）	アオバ通信（株）
中立電機（株）	（株）関東扇港電機	宮川電気通信工業（株）
東京戸上電機販売（株）	小島電機工業（株）	ニッタン（株）
ミヤコ電機（株）	東芝電材マーケティング（株）	能美防災（株）
岩崎電気（株）	首都圏電工（株）	ホーチキ（株）
東芝ライテック（株）	ミツワ電機（株）	20社

編集後記



近年入札制度も変わり、毎年変化する内容に対応して行く事の難しさを実感しております。

当協会でも総合評価方式の技術力アップや千葉県建築事業関係等、会員の皆様が理解を深められるような委員会事業へ取り組んでいければと思っております。

委員会活動を通して千葉県男女共同参画推進会議やセミナーに参加をし、各企業での男女共同参画の取り組み方などを聞く機会が多くなり、建設業界での取り組み方の難しさを改めて考えさせられました。

建設現場においても女性が進出できる環境を整える事が必要に思われます。

又、有能な人材の確保も深刻な問題ではあります。工業高校との交流を持ち、建設業界全体で連携をもって人材を育てて行く事が大切ではないかと思えます。

さらに魅力ある建設業界になる事を望みます。



「安全チェック 重ねて築く ゼロ災害！！」

平成21年度 第20回安全衛生大会スローガン
